



## 2019年12月期 第1四半期決算短信(日本基準)(連結)

2019年5月14日

上場会社名 ベルトラ株式会社

上場取引所 東

コード番号 7048 URL <https://corp.veltra.com>

代表者 (役職名) 代表取締役社長兼CEO (氏名) 二木 渉

問合せ先責任者 (役職名) 取締役Headquarters Division Director (氏名) 皆嶋純平

TEL 03-6262-5481

四半期報告書提出予定日 2019年5月15日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2019年12月期第1四半期の連結業績(2019年1月1日～2019年3月31日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2019年12月期第1四半期	929		240		214		146	
2018年12月期第1四半期								

(注) 包括利益 2019年12月期第1四半期 149百万円 ( %) 2018年12月期第1四半期 百万円 ( %)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2019年12月期第1四半期	5.16	4.94
2018年12月期第1四半期		

(注) 当社は、2018年12月25日に東京証券取引所マザーズ市場に上場したことにより、第1四半期の業績開示を2019年12月期から行っているため、2018年12月期第1四半期の業績及び2019年12月期第1四半期の対前年同四半期増減率を記載していません。

#### (2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	
	百万円	%	百万円	%	%	%
2019年12月期第1四半期	5,965		1,689		28.3	
2018年12月期	5,111		1,374		26.9	

(参考) 自己資本 2019年12月期第1四半期 1,689百万円 2018年12月期 1,374百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2018年12月期		0.00		0.00	0.00
2019年12月期					
2019年12月期(予想)		0.00		0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 2019年12月期の連結業績予想(2019年1月1日～2019年12月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	1,876		300		259		174		6.11
通期	4,055	20.3	600	43.9	547	71.5	356	14.5	12.49

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

当社は、2018年12月期第2四半期において、四半期連結財務諸表を作成していないため、2019年12月期第2四半期(累計)の増減率の記載をしておりません。

#### 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示  
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無  
以外の会計方針の変更 : 無  
会計上の見積りの変更 : 無  
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2019年12月期1Q	28,578,000 株	2018年12月期	28,110,000 株
期末自己株式数	2019年12月期1Q	株	2018年12月期	株
期中平均株式数(四半期累計)	2019年12月期1Q	28,468,800 株	2018年12月期1Q	株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

#### 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料の3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間 .....	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間 .....	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	8
(継続企業の前提に関する注記) .....	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	8
(追加情報) .....	8
(セグメント情報等) .....	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間における経営環境は、国際情勢においては通商問題が世界経済に与える影響や地政学的リスクがあったものの、国内においては雇用・所得環境の改善や各種の政策効果もあり、景気は緩やかに回復いたしました。

このような経済状況の中、旅行業界におきましては、2019年1月から3月における出国日本人人数が前年同期比6.4%増の491万人となり堅調に推移いたしました。また、訪日外客数は前年同期比5.7%増の805万人と、引続き高い伸びを示しております（出典：日本政府観光局（JNTO））。また、2018年の世界全体の観光客は前年同期比6.0%増の14億人となり、今後も増加傾向が続くとされております（出典：国連世界観光機関（UNWTO））。

そのような事業環境のもと、当社グループは、現地体験ツアー専門のOTA（オンライン・トラベル・エージェン）企業として、(1)主に日本人の海外旅行向けのサービスを提供する「海外旅行部門」、(2)訪日旅行者向けのサービスを提供する「インバウンド部門」、(3)グローバルな旅行者向けに世界各地のサービスを提供する「グローバル部門」に組織編成し、それぞれの部門がターゲットとしている旅行者に現地体験ツアーを販売してまいりました。

この結果、当第1四半期連結累計期間の営業収益は929,213千円となりました。なお、営業収益を収益区分別にみますと、海外旅行部門が883,882千円、インバウンド部門が12,690千円、グローバル部門が32,641千円となりました。

利益につきましては、営業収益が堅調に推移したこと、効率的な広告宣伝による費用抑制や当初計画していた採用費及び人件費が第2四半期以降にずれ込むこととなった結果、営業利益は240,947千円、経常利益は214,094千円、親会社株主に帰属する当期純利益は146,792千円となりました。

なお、現地体験ツアーについては、旅行者が長期休暇を比較的取得しやすい7月から9月の夏休み期間に集中する傾向にあるため、当社グループの営業収益及び利益についても7月から9月に増加し、その他の期間については営業収益及び利益が減少する傾向にあります。

また、当社グループは、旅行関連事業の単一セグメントであるため、セグメント別の記載は省略しております。

## (2) 財政状態に関する説明

「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」（企業会計基準第28号 2018年2月16日）等を当第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、財政状態については遡及処理後の前連結会計年度末の数値で比較を行っております。

## (流動資産)

当第1四半期連結会計期間末における流動資産は5,135,830千円と、前連結会計年度末比823,642千円増加しました。これは主に、現金及び預金が585,114千円、営業未収入金が209,691千円増加したことによるものです。

## (固定資産)

当第1四半期連結会計期間末における固定資産は829,791千円と、前連結会計年度末比30,655千円増加しました。これは主に、ソフトウェアが16,431千円、ソフトウェア仮勘定が28,655千円増加したことによるものです。

## (流動負債)

当第1四半期連結会計期間末における流動負債は3,978,392千円と、前連結会計年度末比588,934千円増加しました。これは主に、営業未払金が203,734千円、前受金が573,567千円増加したこと、未払法人税等が115,257千円、未払金が74,361千円減少したことによるものです。

## (固定負債)

当第1四半期連結会計期間末における固定負債は298,216千円と、前連結会計年度末比49,580千円減少しました。これは主に、長期借入金が49,499千円減少したことによるものです。

## (純資産)

当第1四半期連結会計期間末における純資産は1,689,013千円と、前連結会計年度末比314,943千円増加しました。これは主に、オーバーアロットメントによる新株式発行により資本金が82,667千円、資本剰余金が82,667千円増加したこと、親会社株主に帰属する四半期純利益146,792千円を計上したことによる利益剰余金の増加によるものです。

（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2019年12月期の連結業績予想につきましては、最近の業績動向を踏まえ、2019年2月14日に公表しました第2四半期累計期間の連結業績予想を修正しております。詳細につきましては、本日（2019年5月14日）公表しました「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2018年12月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2019年3月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	3,171,894	3,757,008
営業未収入金	1,031,051	1,240,743
その他	109,241	138,078
流動資産合計	4,312,187	5,135,830
固定資産		
有形固定資産	32,307	32,878
無形固定資産		
ソフトウェア	409,018	425,449
ソフトウェア仮勘定	69,938	98,593
その他	216	216
無形固定資産合計	479,172	524,258
投資その他の資産	287,656	272,653
固定資産合計	799,136	829,791
資産合計	5,111,324	5,965,622
<b>負債の部</b>		
流動負債		
営業未払金	1,299,676	1,503,410
1年内返済予定の長期借入金	197,996	197,996
未払金	232,200	157,839
未払法人税等	121,500	6,242
前受金	1,304,392	1,877,960
賞与引当金	-	2,120
ポイント引当金	142,996	158,933
その他	90,695	73,889
流動負債合計	3,389,457	3,978,392
固定負債		
長期借入金	347,511	298,012
その他	285	204
固定負債合計	347,796	298,216
負債合計	3,737,254	4,276,608

（単位：千円）

	前連結会計年度 (2018年12月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2019年3月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	441,030	523,697
資本剰余金	551,421	634,088
利益剰余金	404,975	551,768
株主資本合計	1,397,426	1,709,554
その他の包括利益累計額		
繰延ヘッジ損益	△2,939	△1,202
為替換算調整勘定	△20,416	△19,338
その他の包括利益累計額合計	△23,356	△20,541
純資産合計	1,374,070	1,689,013
負債純資産合計	5,111,324	5,965,622

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 (四半期連結損益計算書)  
 (第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	当第1四半期連結累計期間 (自 2019年1月1日 至 2019年3月31日)
営業収益	929,213
営業費用	688,266
営業利益	240,947
営業外収益	
受取利息	88
その他	87
営業外収益合計	175
営業外費用	
支払利息	858
為替差損	26,084
その他	86
営業外費用合計	27,029
経常利益	214,094
税金等調整前四半期純利益	214,094
法人税、住民税及び事業税	3,615
法人税等調整額	63,685
法人税等合計	67,301
四半期純利益	146,792
親会社株主に帰属する四半期純利益	146,792



（四半期連結包括利益計算書）  
（第1四半期連結累計期間）

（単位：千円）

	当第1四半期連結累計期間 （自 2019年1月1日 至 2019年3月31日）
四半期純利益	146,792
その他の包括利益	
繰延ヘッジ損益	1,737
為替換算調整勘定	1,078
その他の包括利益合計	2,815
四半期包括利益	149,608
（内訳）	
親会社株主に係る四半期包括利益	149,608

（3）四半期連結財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

当社は、2019年1月22日を払込期日とするオーバーアロットメントによる売出しに関連した第三者割当増資による新株式発行468,000株により、資本金及び資本準備金がそれぞれ82,667千円増加しております。

この結果、当第1四半期連結会計期間末において、資本金が523,697千円、資本剰余金が634,088千円となっております。

（追加情報）

（「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」等の適用）

「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」（企業会計基準第28号 2018年2月16日）等を当第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、繰延税金資産は投資その他の資産の区分に表示しております。

（セグメント情報等）

当社グループは、旅行関連事業のみの単一セグメントであるため、記載を省略しております。